

贊助會員

市川茂夫
目黒区大岡山 二二八

奥村智恵子 中野区打越町 二六 岩間古
篠原敏子 渋谷区代々木西原 八六三
丸山かよ 豊島区西巣鴨 一ノ三五一
川島弘子 埼玉県熊ヶ谷市大字三尻



聖經

金
沂
英
原

大田区雪ヶ谷七五二一・青い芝の会
(山北方)
大田区調布市轍町二丁村三一・
更正社タイブライター・オフィス
編集責任者 能勢敦子

「青い芝」の塾は、四月五日入学式となり、母さんやお姉さんに手をひかれたり、おふさつたりしてやつて来たのは七人の子どもたち、今年光明学校の入学選考に合格された者から伊藤先生が選んで下さった子どもたちだ。

そもそも、この「青い芝」の塾は前号に書いたように、伊藤先生が御自分の剣道場の一階を開放して下さったために閉くことが出来たのだが、その上先生は塾を始めるに当つて机やいすも新しくとゝのえて下さつた。そのニースの光つた机やいすは、指導する僕達の胸もおどらせてくれるものだつた。そして、ほんとに有難いことだと思わずにはいられなかつた。

会としても、積木やおもちゃやの楽器などをいくつか貰いそろえた。

それらの品々は僕達にも何か新鮮な期待を抱かせてくれた。集つた子どもたち

四人は歩ける。みんな可愛い男の子、女の子たちだ。あくまでこの子どもたちの仕合を頼んで、真心をもつてはぐくんで上げよう。指導するというのではなく、一諸になつて勉強しそして遊んなりしよう。そういう思いの中には又果して上手にやつていけるからとの不安もあつた。しかし、とにかく一心にやつてみるとことだとの思いを新たにして、伊藤先生、原田先生も列席されたオーディションは終つた。以後毎週水曜と土曜の二回午後一時から三時まで塾はもたれることになつた。そして、あいうえお、がきかけを、ひとつ、ふたつ、みつつと物を数えることを教え、或は絵を描かせ、折紙を折らせたりした。子どもたちはつきそつてくるお母さんの方の手を借りてどうにか僕達の指導についてはきた。だが、家では大きな声でしやべるとい

何よりもまずこの塾になされさせなければならない」と改めて痛感させられた。「子どもには子どもの世界がある」という。僕達はまづ子どもの気持の中に入つて行くべきだ。僕達は子どもたちと相撲をとつたり、野球のまねごとをしたりし始めた。時には靴下をぬいで一諸にかけつけをした。そして、今のところ一諸に遊んでやることに、ほんとにいゝ友達になつて上げることに精一杯であるような気がする。しかし、塾を始めてから二ヶ月、この頃子ども達はどうやら塾になれてきたようだ。

こくことさんすうは教科書を使うことにしたが、そんな勉強に積極性を示す子どもも出て来た。僕達の指導もどうやら一段階を画したような気がする。そして心から何とも云えぬ喜びを覚えるのである。

ところで、この塾は指導する僕達にもいゝ効果をもたらしてくれた。例えは僕は言語障害も持つているが、子どもたちは出来るだけいゝ発音をして聞かせようと努める。それは僕にとってどんなにいゝことか。父子ともに間違いのな

見られる人生

中馬保子

身障者は、あくまでも、素直でなければいけない。昔、かた目のサルがなかなか除者にされ、悲しくなつて、あてども旅に出た。すると旅先で、かた目ザルの国というのにでくわした。右をむいても左をむいてもかた目ザルばかりだ。さきのサルクンが考えたものだ。「おれは、片端じやなかつたんだ。せんの國のなかまが皆片端だつたんだ」と。これには大人的のマンガがありますが、私はこれについて考えることのオ一は、「身障者とせけん」という事なのです。伝染を、おそれられる私達ではないのに、まだまだ世の中より、うんじられやすい。しかたがないとは、言ひ切れない問題だと思います。

夜の雨にも上り、蒸暑りながらレクリエーションでは差支えない空模様。(二)五金賞詠氏は省線改札口横の広場へ横付けされた関東バス「ライオン号」の日曜で行く。八時十五分頃よりそろそろ「エスベロ」の方達と役員の活躍が始まる。八時半出発定が二十五分遅れる五十五分発車。才二京国道を走り始める。本門寺、多摩川大橋を出はすれば「青神奈川」車の速度はいよいよ増す。い芝発会の時より会の懇親を何かと報導して下さる記者の斎藤さんが今日も朝日の車をかゝってバスの先導をして下さる。居る。(四月二十六日(土曜))

此の初めのレクリエーションの計画は今年に入る早々、役員の間では、四・五月頃と予定は立てゝたものの、先立つべき費用の点が悩みの種だった。それが三月半ば突然、会の相談役原田先生から「日本国際キリスト教団」の外人の方が駐名で、バス一台分の費用を出して下さる。それについて三月十四日、教文館で「エスベロ」の方々と旅行の打合せがしたいから来るようとのお電話で、私達は取るものも取り合えず教文館をおとづれた。それから先是、「二月の遅退は何処へやら、一車千里に事がほこび、バスも「エスベロ」の小川さんが交渉して下さつたり、此の日は又其

レクリエーション報告

の間では、四・五月頃と予定は立てないものゝ、先立つべき費用の点が悩みの種だつた。それが三月半ば突然、会の相談役原田先生から「日本国際キリスト教団」の外人の方が駐名で、バス一台分の費用を出して下さる。それについて三月十四日、教文館で「エスベロ」の方々と旅行の打合せがしたいから来るようとにのお電話で、私達は取るのも取り合えず教文館をおとすれた。それから先是、「二月の遅退は何処へやら、一草千里に事がほこひ、バスも『エスベロ』の小川さんが交渉して下さつたり、此の日は又其

中に、これは大きな声では申上げられませんが、御医者様の山本先生御自身歎詔の蓋で手を御切りに成りました。尚当日会の初のクリエーションのために、バン、タオル、その他御寄附下さいました方々の御名前は別項に記しますが、此の御報告の末尾にあたつて山本先生、原田先生、~~エスベロ~~の皆様、そして御寄附下さいました方々に紙上より厚く御礼申上げます。有難度う御座りました。

御支援御礼

本会初のレクリエーション、鎌倉・江の島へのバス旅行は予定通り四月二十六日行いましたが、それに際し各方面より多大の御援助、御協力を得ましたので、こゝにまとめて御報告並びに御礼させて頂きます。(報答願不同)

大森の宝屋さんから手ぬぐいを、蒲田の木村屋さんからパンを、アーモンドグリコさんからグリコを、ライオン歯みがきさんから歯みがきを、朝日新聞社社会部記者氏よりアイスクリームを、又、当日の費用の一部と贊助会員の奥村さんによる金円を大々御寄附下されました。そ

れから、藤沢職安の身障者係大矢氏のお口添えにより江の島鎌倉観光K・Kから江の島熱帯植物園の優待入場券と鏡光パンフレットを頂き、又鎌倉の元公安委員長八尾氏の御力添えによつて、鎌倉警察から特別に交通巡回を派遣して頂きました。門前の駐車その他便宜を、及び大仏無料拝観の取扱いを得させて頂きました。そして、日本国際基督教奉仕団の小川さんと小島さん、オ一國立病院御勤務の山本先生、エスペーロ会の坂巻・角田先生、藤井の各さん、大森職安の原田先生が同行して下さりいろいろとお世話下さいました。

最後にこのバス旅行のバス代を出して下さった外人の方は元より、以上の如く御支援下さった方々に深く感謝致します。

これから、藤沢職安の身障者係大矢氏のお
江の島熱帯植物園の優待入場券と鏡光バ
ンフレットを頂き、又鎌倉の元公安委員長
長八尾氏の御力添えによつて、鎌倉警察
から特別に交通巡査を派遣して頂きました。
門前の駐車その他の便宜を、及び大仏無
料拝観の取計らいを得させて頂きました。
そして、日本国際基督教奉仕団の小川
さんと小島さん、オ一國立病院御勤務の
山本先生、エスペーロ会の坂巻・角川・
金子・藤井の各さん、大森職安の原田先
生が同行して下さりいろいろとお世話を下
さつた。

最後にこのバス旅行のバス代を出して
下さつた外人の方は元より、以上の如く
御支援下さつた方々に深く感謝致します。

田
易
集
柳
賢
治

私が芭翁クラブを始めて約一年、今日までたゞ無我夢中でした。大体、初対面の人は苦手中の苦手である私が客商売をやるのです。その上、碁石の並べ方位しか知らないなかつたのですから、骨の折れたのも当たり前と云えるでしょう。私の仕事はお客様も同志樂しく碁を打つて下さるよう組合せをつけることゝ、他に適當な人がいない場合、私自身がお相手をし

沿道、バスガイドさんの説明につれて右に左に会員の顔は動く。逗子を出はざれる頃、私達の上に太陽が顔を出すと、それを機に車内に合唱がわき起る。ガリ版刷のパンフレットの中から「五条の樋ユーモラスな英語入りの牛若丸とグレートマンの弁慶の勝負、歌い笑い、そしてグリコ製菓から寄附されたグリコをぱつぱついる内に、十一時五十分最初の目的地鎌倉八幡宮に着く。そこで私達は石段の下、かの有名な別当公暁が籠れていた大公孫樹を遙く見る歌楽殿の前で、一ずや膝の静御前が時歴史に足を止め、一時大仏に向う。大仏前にて会員三名参加、四十七名と成る大仏さまの男女論に笑いながら見物をするませ再び乗車、最後の目的地へ。此例より鎌倉在住の会員酒井さんが予て手配しておいて下すつた地元所轄の小林巡査さんが同草、そのため大仏の門前及び八幡宮でもバスは一番足場の良い処が取つてしまつたり、止めていけない処へ特別に止めさせて頂く事が出来て、私達は多いに助かつた。朝日の斎藤さんも又バスの方々が同車して下さると云う御申出が私達は心から御受けして当日となつたが才。

方へ、それと入違いに『エスペロ』の方二人と私は朝日の車へ乗せて頂く。バスの中では齋藤さんが写真を、そして原田先生と私達は前になり後に成り、此れもバスを外より写しながら七里ヶ浜を磯ずたいに走る。待ちかねた海の香り、白い波頭、朝の横浜港の霧も残りなく晴れて青い海は私たちに水平線まですつきりと見せてくれた。

(十二時二十分) 江の島着。『青い芝』と緑に白で役員の龍勢さんがローケッ染を作つて下すつた旗を真中に円くなつてお弁当を開く。暑くない日射が一団を包むさて、昼食後の一験ぎ。歌のお稽古くち引が終ると、三時までの自由時間を思い思いに皆さんマリンランドへ、海へボーリ投げに打興ずる。

此の日初めて海を見た方、団体で出歩いた事の皆無の方、一生に一度大体が見たいと云つて居たのが、みせてやれたと頭をあつくされるお母さん、お一回レクリエーションは様々な批判も有るだらうが、此の方々を御連れ出来た事だけでも成功と云えよう、

三時十分乗車。一路東京へ。ベンフレットによる歌が次々と合唱されながら、途中、藤沢、池上と三人、二人と下車して行く。さようななら、さようなら、窓々から手があられ、又歌声が尾を引いて五坂田迄続く。五時十分。無事出発点へ安無事故とさしたる怪我人もなかつた

ながら次の人にバトンを渡すということなのです。そのためには、渡人近いお客様たちの顔と名前と棋方をすつかり憶えなければなりません。時々、それを間違えては、「ボクはそんなに弱くないぞ」とお客様さまに叱られてしまします。

対局中のお客様たちも各人それぞれ皆「無くて七クセ」で仲々面白いものであります。始めから終りまでワイワイガヤガヤさわいでいる人、長年の親の仇にも巡り会つたような顔をしている人、自分より弱い人を負かしてテンダになつてみたり、「有楽町で逢いましょう……」等と云つた低音メイ歌手が現われたり致します。なお、私自身とにかくこのように商売上どんな人とも接し、待てしなければなりませんが、最近ではやつとのコツが解りかけて、大して苦にもならくなつて来ました。やはり「何んでも行つてみなければいけない」と思い、我々にとつて一番大切なものは、この自信をもつという事と、何かどんな小さな事でも自分の仕事をもつといふことだと思います。私の場合でも、囲碁クラブだけで自立生活を成させると云つた目標には未だしないのですが、自分にとって自信と勇気が得られたものと信じております。

このような日、浅い私の体験ですが、少しでも皆さまがたのお役に立つことが出来れば幸いだと思つております。

旅行記

白土信江

夕べ降つた雨は上つた。
新宿から乗つた山手は、すごいラッシュ

ユだつた。さながら、生存競争の激しさをそのままの姿に思ふ、五反田駅のホームは人の波で溢れ、武蔵野の朝の空気だけを食べてきただ私にとつては、階段を

やつと降りた途端、足がガタガタしてきて、暫くは震えが止まなかつた。だが、今日は青い芝のレリエーションなので、何故か、くるくる人の顔にうれしさが溢れ、時間より三十分程遅れて出発した車内には、青春が漲つてゐるが、一寸気になることがあつた。

それは、ほんやり見送る淋しそうな姿で、職安の人々が誘つていたが、やわり行かない様子だつた。私たちは、お会いもお墓子も分けて上げるのに、どうして行かないのかしらと話しかつた。女性は、すぐ感傷的になる。

京浜國道を走つてゐる時、付添人たの、各グループのリーダーの紹介をしていて、川崎の風景が、車窓に写り始めた。

川崎と言えば、工場地帯で、エントンが空を濁らせてゐるよう、そらぞらしく立ち並んでいた。この川崎では、川崎大師と大人の遊び場、川崎競馬が有名で、立派な川崎の風景が、車窓に写り始めた。

川崎と見なれば、足利草氏の弟直義の為に殺害された、親王最後の処

石牢に押縛められ、足利草氏の弟直義の為に殺害された、親王最後の処

石段を登つて、いつたい意欲が私の心を揺乱した。社殿の裏に、後醍醐天皇の才三皇子、大塔宮護良親王が幽閉の身とな

り石牢に押縛められ、足利草氏の弟直義の為に殺害された、親王最後の処

石牢を見たかつたが、あの高い石段を見るとき立ち並んでいた。この川崎では、川崎大師と大人の遊び場、川崎競馬が有名で、立派な川崎の風景が、車窓に写り始めた。

また、義経が兄頼朝の勘気にふれ、弁慶と何人かの直侍と共に、落延びていつた街道を通過したが、そこから連想されるのが、有名な「勘定塙」である。

男が泣く場合、この武士の情で、安宅の闇を無事に通過出来た喜びと、最初に

もが主を、殴つた悔いとの、複雑した感涙が伝つたのだろうが、女と違つて余程感激しないかぎり、涙は人前で見せない。

女のように、泣けたら、その時こそ、本当の男女同権と云えよう。

有料道路で現在の関所に通りかゝったが、昔なら手形をさし出すのだが、現在の世の中はすべて現ナマ、偽札でも偽造しない限り、この関所を渡ることは難しく出来ない。

七里ヶ浜の磯すたい
稻村ヶ崎名勝の
剣投げ古戦場

由比ヶ浜辺を右に見て

競馬場と、ガードが消々しい声で、ユーモラスに説明するのを、経験のあるらしい人は、テレ奥そうに苦笑していた。

南武線のガードを通り、ヒジキ橋の下を出るともうそこは鶴見で、其の昔、徳

川時代であつた頃、この辺に多くの鶴が戻っていたと言われる。

統いて横浜に入つた。浦島太郎の像があつた一寸手前の、浦島ヶ丘の小高い所に和洋風の古臭い館があつた。ガイド所は其処を説明しなかつたが、残念に思われた。

其処はかつて、一八五一年、嘉永四年、アメリカ合衆国大統領フィルモアは、東印度艦隊司令長官マットス・カルブリー・ス・ベリーを、使節として日本に送ることにきめ、一八五一年、嘉永六年、軍艦四艘を率いて、浦賀に入港した。開国

の國書を受領した幕府は回答を一年間延期したが、翌安政元年三月にふたび来航したベリーと神奈川のその館で和親条约が調印され、その後、ハリスが来航安政五年、一八五八年、六月十九日、日本通商条約の調印をした所だと云われている。

もちろん、そのまゝの姿ではないにしても、多少なりとも偶々ことが出来る。

封建國が破られた所と言つても、過言ではあるまい。

こゝは、横浜のオフィスセンターで、誰もが、眉毛をしかめる税務所、嚴め

しい警察署。

こん度は、グント變つてマドロスである。とても美しい港だ。港町十三番地は……なんて言う人もいた。三分の一しかえしてくれない山下公園を左手に見

て、車は軽快に走る。おつと、これは通

交止め、迂回していくと見える。

今泉不動と杉田を通つたような氣もす

るが春の乗りこゝちは、まだ格別である。

マツチ箱のような小さな魚屋から、美

空ひばりが誕生し、今ではひばり御殿と呼ばれてきた。

そろそろ車中には、歌声が流れ、海も見え出した。

鶴ヶ岡八幡宮に着き、そこで降り、下の廻廊までしか行かなかつたが、その前に石段が高く望まれ、正面の石段の傍にある大銀杏に隠れていた公暉は、三代將軍実朝を一振りのもとに切捨てた。

また、その正面に、頼朝が義経の愛妾静御前に舞わせた六疋ばかりの廻廊(舞台)があり、捕われ人となつた静御前

は、腰や脇の草縄(をだまき)くりかえし

昔を今に為すよしもがな

と、行方不明の義経を偲びながら、うた

い舞うのを見て、誰もが涙をそつた

これまでその広大さを、しつかり愛するのだ。

空と海の青さは統き、その橋に辿り着く時が、わたしにも訪れよう。

それまでその広大さを、しつかり愛するのだ。

空と海の青さは統き、その橋に辿り着く時が、わたしにも訪れよう。

それまでその広大さを、しつかり愛するのだ。

藤沢から戸塚の才三松並木をコースに取つた、そこには、杉桜の世にも珍しい姿が、昔を語るように力強く立つていた。

オ一松並木には、戸塚トライピスト修道院があり、静かな氛圍気の中に散かで、美しい十字架が掲げられてあつた。

その少し離れた並びに、聖母の園(養老院)があり、銀座の千疋屋の温泉も、右に見えた。

こゝは、仮名手本忠心蔵、四段目淨瑠璃道行、旅路の花葬で有名な、お輕勘平

の道行の場である。

私たちのバスは旧街道を走り、一日八時間しか開かない、踏切を渡つた。

オ一松並木に入った。

新街道は有料で、一名をワンマン道路と言われ、前吉田總理が、大磯から国会に通る途中、その踏切で長いこと待たされたことがある。氣の短い總理は頭から湯気をたて……これは誇張だろうが、なにしろカンカンだつたそな。

これに怒りた總理、早速、山を切り開いて、車は軽快に走る。おつと、これは通交止め、迂回していくと見える。

(9)

思いのまゝに

小林ひさ

今日は、私のたんじよう日三十年間も生きたのに母は今だに赤ちやん扱いです。今だにどろか一生かも知れない。今はだ殘念ですが得する事もあるから五分五分かな。私の気性として特別扱いされるの一番やです、変り者かしら。私が不具者でなかつたら、女三郎にでもなるんだつたと云つたら、母は、お前にねと笑つた。近所の方たちは、私にいつもやさしく話して下さるし、また色々な出来事何でも話します。私もそれにのつて、おしゃべりします。小さい時から普通の人と変わらない、あそびでしたから気持が明るいのかも知れない。ばかりなんかされると、ばかりにした子があやまるまで気かない性です。今日お友達がみんなよい方ばかりで本当にあわせです。小学校に通う様になつて父、母に、おんぶして二年、あとは車押して天気のよいだけ四年生まで行きました。遠足の時は母がおんぶして、皆んなと同じに連れてもお、なつかしく忘れる事の出来な

いたのしい思い出の一つです。

先生がとても親切な、よい方でしたのでまだ学校に行きたかったんですが、色んな事情で止める事になつてしまつた。

いじわる先生や、いじわるした子供を思ふと今でも、いまいましい。

やさしかつた先生、今頃どうしていらしゃべらかしらと、なつかしく思い出します。

学校止してからは、本で色々な事覚えるやうにと母は、私が欲しいと云う本ほどの事しても買つて下さり、読書出来るのも母の愛と力です。

私は母の愛と力で生きて来だが、これが母は街で若い女の流行のスタイルを見ては、色々買つて来てくれるで、よく鏡とニラメソコしておしゃれをしては、まんざらもないねと、一人ニヤニヤする事もあるが、私たつて女です。不具に生れなかつたらなと思う。泣きたい心は山はある。悲しさ、だれかわかるだらうと思ふ事がある。だが私はめそめそしない。不具と云う言葉に負けない様生きて行きたい。

信仰の事もよく云われるが、神に対する事はどの気持はない。今にどう變るかわからぬ。歌でも唄つて明るく生きて行くのも良いではないでしょうか。私は歌が大好きで

て、一名ワンマン道路を造らせた。車内は、コーラスの歌声で満ち、皆んな明るい。

五反田に着くまで、歌は流れた。御協力下さつた方々に感謝しながら、こゝに、楽しかつた「青い芝」オ一回レクリエーションが終つた。

バスに酔う人もなく、D組で靴ずれをした人がいたが、すぐ衛生綿を当て上げただけで、怪我人もなく、本当によかったです。

夢のように過ぎた一日を、ふりかえつて見て、唯生きていてよかつたと、生命に対する執着を憶えた。

青い芝の会が出来たことは、ほんとうにうれしい。一步世の中に出た気がする。どこまでも青い芝の会の皆さんと明るい人生を歩んで行きたいと思う。

ヒント 傘題

そろそろ梅雨の季節に成つて参りました。手の悪い方や、おんぶで、お通りに成るお母様方に、耳よりな傘が出廻り始めました。

一

編蝠を斜に向に御持ちに成りまして、片手で手元のボンチを押すだけの簡単な操作で開く物が、その一つで御座います。これは、エスカレータのようにスムースに開きます。但し欠点は、開くのに見とれておりますと、最後にぐんと引はれます事と、人混と雨の中では、いつもスローモーションのようと思われる事でしょう。

五月上旬日本橋高島屋調べ、男物二千八百円、女物無し。

二

これは、テレビや新聞に出ましたそうですので御存知の方もおありでしょうが、私がまだ実物を見て居りません。石突を強く地面に押しつけると、バツと開く傘が出来ましたとか。たしか有楽町の『そごう』だと記憶致して居ります。女物二千円と少々だと思います。

今月は、お高い物ばかり並べましたが、片手に荷物、もう一方に傘とふさがれるのは大変な事と存じましたので、あえて記しました。御許し下さい。

訂正

前回、ヒントの図中、サラダ・フォークとありましたのはメロン・スプーンのあやまりでした。

遠足に参加して

寺田純

一

ぼくは四月二十六日の会の遠足に鎌倉の大仏の所から加わり、みなさんのおかげで実にたのしい半日をすごすことが出来ました。バスにのつたのも、同病の方々とせつしたのも、外で食事をしたのも、みんなほくには始めた事でした。

タクシーで母と来て大仏の門で待つていた時には、修学旅行生がみんなじろじろ見るのですこくいやな気持でしたが、みなさんから色々な感はこぢらからは何もあげられず、どうも残念でした。コーラスやクジ引きは、まつたくゆかいでした。自由行動の時間には高

御詫びかたがた

金沢英児

前号で僕は「折れないクレヨン」というのを紹介しましたが、あれは僕のミスでした。というのは、「青い芝」の塾で子ども達にあのクレヨンを使わせましたが、手の不自由な者はやはりすぐ折つてしまうのです。折れにくくと云つても、手の不自由な者は普通のクレヨンと変りはないようです。実際に使つてみたところ、どちら御紹介すればよかつたのですが、恐縮を禁じ得ます。折れにくくと云つても、墨に來ている子どものある者は、クレヨンに厚紙を巻いて使つています。これらの事はがきだと書き易いようです。

沙浜を自分であるままわつたのも、みんなほくには始めての事でした。とにかくにかく田舎にすんでいてほとんど友を持たぬぼくにとって、会のみなさんと直接接することが出来たのは、すばらしいことでした。今後このような行事が度々行なわれて、他の地方の方々が参加の機会をえられることがぞましいと思います。

青い芝の会が出来たことは、ほんとうにうれしい。一步世の中に出た気がする。どこまでも青い芝の会の皆さんと明るい人生を歩んで行きたいと思う。

前号で僕は「折れないクレヨン」というのを紹介しましたが、あれは僕のミスでした。というのは、「青い芝」の塾で子ども達にあのクレヨンを使わせましたが、手の不自由な者はやはりすぐ折つてしまうのです。折れにくくと云つても、手の不自由な者は普通のクレヨンと変りはないようです。実際に使つてみたところ、どちら御紹介すればよかつたのですが、恐縮を禁じ得ます。折れにくくと云つても、墨に來ている子どものある者は、クレヨンに厚紙を巻いて使つています。これらの事はがきだと書き易いようです。

新入会員名簿（略五十音順）

正会員

谷井 慎明
世田谷区世田谷一四八

鶴友一郎
品川区五反田二ノ一〇七

池谷信二
大田区調布嶺町二ノ一二

戸田健夫
世田谷区赤堤町一ノ一八三

大沢和子
荒川区尾久町七ノ一三〇

成田宏子
中野区宮園通り五ノ三三

小田切民幸
世田谷区代田一ノ三七一

中村文子
港区赤坂台町六六

佐久間恵子
目黒区上目黒一ノ七六

前川一靖
大田区調布嶺町二ノ八二

沢田信子
都下北多摩郡小平町小川二一七二

長谷川彰
目黒区大岡山四八

相馬喜恵子
神奈川県藤沢市大船一〇三六

渡辺圭子
江東区深川三好町二ノ一六

三谷泰夫
香川県大川郡引田町黒羽定園

山本令子
神奈川県藤沢市片瀬二六一一

須山友博
大田区大森八ノ三八一〇

原口勝之
下関市彦島弟子待町五五九ノ一

四釜和良
世田谷区松原町三ノ八七三

岡田五作
大田区田園調布三ノ四九

佐久間恵子
目黒区上目黒一ノ七六

岡田五
大田区田園調布三ノ四九

国鉄宿舎Cノ二号

岡田五
大田区田園調布三ノ四九

須山友博
大田区大森八ノ三八一〇

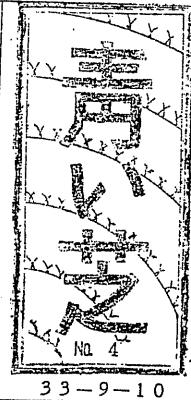
岡田五
大田区田園調布三ノ四九

賛助会員

高木洋子

水谷松男
千葉市辺田町五七八
國立下総療養所附屬准看護學院内

岡田五
大田区田園調布三ノ四九



「青い芝」

再度テレビに出る

七月十四日夕六時十五分から日本テレビ「この人を」の番組で、小児マヒ特集として脳性（小兒）マヒの二つのグループ、「ひふみ学園」と私たちの「青い芝」の会の事がとり上げられて放送された。この番組に本会を推せんして下さつたのは東京都立光明慈護学校の長沢先生の長沢先生も軽いC・P（脳性マヒ）なのである。

放送当日の出演者は局の方の希望で言語障害のあまりない人をということで、私が一枚加る事になつた。しかし、当日は落合君の都合が急に悪くなつたので、代りに金沢君が出た。さて、その放送、まず先に「ひふみ学園」の人が出た後、代つて私たち

が踏まれても踏まれても青い芝の二人はC・Pとしては軽い方なので代りに金沢君が出た。そこで、その放送、まず先に「ひふみ学園」の人が出た後、代つて私たちが踏まれても踏まれても青い芝の二人はC・Pとしては軽い方なので代りに金沢君が出た。

その二人はC・Pとしては軽い方なので代りに金沢君が出た。

が学校で画を書いている様等が映画によつて紹介されて、次いで長沢先生が推薦者の立場から「この人たちの事を広く世間に訴え理解してもらいたい」というようなことを話された。それから質問の矢は私たちに向かれたが、何しろこのような多勢の観客を前に公開（NTV本リル）の席に出たのは三人共初めてなので、心ははやれども言葉が思うにまかせない。そこで会員者が特別に原田先生の出場をうながして、原田先生から、この会が作られた動機や経過が話され、次いで能勢さんが自分の障害の様子を少し述べた。その後、ゲストとして橋本厚生大臣、教育映画作家協会委員長の吉見泰氏のお二人が登場され（橋本厚生大臣、教育映画作家協会委員長の吉見泰氏）、からは「自分も障害者だが今度児マヒの大臣を出しなさい」というような激励の言葉があり、骨ずい性小兒マヒの吉見氏からは経験談があつた。昨年の毎日音楽コンクールに入賞された骨ずい性小兒マヒで両足不自由の近江康夫氏のピアノ演奏があつて放送は暮。

放送終了後出場者全員で考へるクイズがあり、全部正解したので、その賞金で会の会計はホット一息つき、又、この放送を通じて十四の個人と団体の方々から

本会に寄附金を頂き、深く感謝していま